

# 東洋医学通信

〈発行元〉

阪神中国医学研究所  
尼崎市長洲本通1-16-17

〈連絡先〉

06(6488)8149

## 鍼灸治療と免疫

かつて結核は、不治の病(国民病・亡国病)といわれ、昭和九年(一九三四年)の記録では、患者数 一三二万五二五〇人 死亡 一三万五二五五人 全人口の二%、一〇世帯あたり一人の患者がいたという計算になります。

戦後、進駐軍からストレプトマイシン(抗生物質)が入ってきて、一九五〇年には国内生産も始まり治すことができるようになってきました。しかしながら現在も年間、一万八千人ほどの感染者がでて、約二千人が亡くなられております。

抗結核薬も良くなっています。が、最低でも三か月の加療が必要です。

平成二一年(二〇〇九年)に、

女性お笑い芸人ハリセンボンの箕輪はるかさんが結核を発症したことにより、芸能界や自治体が一時パニック状態になったことがありました。

やはり有名人が感染症の病気になることにより、社会への影響力は、計り知れないものがあります。

平成三〇年の厚生労働省の調査では、結核患者の多い都道府県、少ない都道府県と致しまして、多い順に、

①大阪 ②長崎 ③兵庫  
④愛知 ⑤大分  
少ない順に

①山形 ②宮城 ③秋田  
④新潟 ⑤岩手  
となっております。

治療薬がなかったため迷信的

な民間療法やあやしげな治療法が行われていました。医療的には、漢方薬・鍼灸治療がおこなわれました。とりわけ有効な治療法といたしまして、灸治療があげられます。

お灸治療の中でも、効果があると言われていている打膿灸という方法があります。大きな艾を使って故意に火傷をさせて炎症を起こさせることによって膿を出すのです。膿とは細菌と免疫細胞が

戦っている状態のときに出る産物です。膿の中身は白血球の成分の一つである好中球と細菌の死骸です。体の中にある結核菌は非自己なので、お灸により活性化された免疫系ネットワークにより結核菌を攻撃してやっつけてしまおうのです。

したがって、この灸治療によって一定の結核患者が治ったという事実があります。

一般の人が、お灸によって結核を治してもらったということ、自分もおなじ病気の人をなおしてあげようと鍼灸師になった先

生方も多くいらっしゃいます。

なぜ結核の事を最初に書いたかと申し上げますと、現在世界中を脅威に陥れている新型コロナウイルス感染症(COVID-19)にも治療薬がありません。

ワクチンも治療薬もない感染症に對しましては、結局免疫力を高めてたとえ感染しても軽症に抑える方法しかありません。

### 【免疫とは、何でしょう】

一言で言いますと、さきほど出てまいりました自己と非自己です。

自己と非自己を識別して、非自己を攻撃して自己を守るのが免疫システムの基本です。

この非自己とは、細菌やウイルス及び悪性腫瘍(すなわちガン)です。

私たちの体の中では、毎日ガン細胞が正常細胞から作られていますが、免疫系の攻撃で増殖を防いでいます。(裏へ↓)



【新型コロナウイルスに打ち勝つための鍼灸の事を説明してみましよう】

・刺鍼すると

鍼は金属(現在では、ほとんどステンレス製)でできており、体におきましては異物なので刺されたことにより免疫系が活性化されます。

①NK(ナチュラルキラー)細胞の活性化  
ウイルス感染した細胞を破壊してくれる。

②キラーT細胞の活性化  
ウイルス情報を記憶し同じウイルスに感染した時の初期対応が早くなり、二回目以降に感染した

場合の病状が悪化しにくくなります。(感染症予防)

・お灸をする  
マクロファージが活性化  
細菌やウイルスを食べてくれます。(食作用)

### 【お灸の種類】

大きく分けまして

①有痕灸(あとの残るお灸)と  
②無痕灸(あとの残らないお灸)があります。

①有痕灸の種類

・透熱灸

皮膚の上に半米粒〜米粒大の艾のひねったもの(がいしゅ)を立てて線香で火をつける。

・焼灼灸

魚の目や胼胝(タコ)などの角質化した部位に据える。

・打濃灸

大豆大から指頭大の艾を焼き切りその部位に膏薬を塗って故意に化膿させる。最も免疫力を上げる灸法だと思えますが、熱さが

強烈で大きな火傷痕が残りますので現在では、ほとんど行われておりません。一部の灸治療所のみで行われています。

②無痕灸の種類

・知熱灸

半米粒大〜米粒大の艾炷を八分(はちぶ)で消したり、熱を感じたら取る方法。

・隔物灸

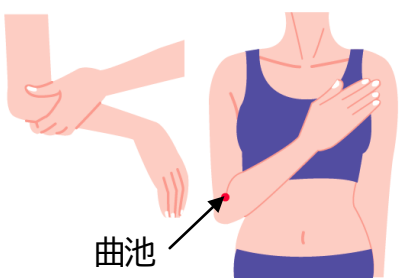
艾の下にものを置いて伝導熱を伝える灸。下に置くものとしては生姜、んにく、枇杷の葉、味噌、塩などがあります。下に置く物の薬効成分と温熱刺激を目的とした灸法。

・台座灸(温筒灸、円筒灸)

既成の台座または筒状の空間を作り台座とする隔物灸の一種。温熱効果や体温上昇(平熱が三六度以下に人にガンが多いといわれています)、血行促進、毎日使って、免疫力を上げるのに有効なお灸であると思っています。

### 【セルフ灸とツボ】

私見ですが、台座灸に関しては温灸としての効果が期待されることから基本的に動かしにくいところ、押して気持ちがいいと思う場所にされても十分な効果が期待できますが、一応手と足のツボをご紹介します。



鍼灸師 宮崎 正康